



製品安全データシート(Material Safety Data Sheet)

セラミック繊維使用紡織製品(焼成品)

製品安全データシート番号: 05-RCFTEXTILE-BT (rev.2)

発行年月: 2005年8月9日

1-製品及び会社情報

製品

セラミック繊維を使用したクロス、テープ等の紡織製品(焼成品)

会社名

北京直井機材有限公司
中国 北京市大興区龐各庄張公堡
輸出入部
電話 +86-10-8925-2200
Fax +86-10-8925-2233
E-mail info@naoi.com.cn

2-組成、成分情報

構成原材料	wt %
セラミック繊維 Al ₂ O ₃ +SiO ₂	65-75
有機繊維 (ポリプロピレン)	1-2
ガラス長繊維 E-glass	5-15
金属線 NiCr (SUS304)	5-15

危険有害性の原因となる成分: 情報なし

3-危険有害性の要約

人の健康に対する有害な影響

製品や作業中に飛散した繊維に触れると皮膚、目、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがあります。

4-応急措置

吸入した場合

清浄な水で10回うがいをして下さい。また、軽く鼻をかんで下さい。もし、鼻や喉にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば医師の診断を受けてください。

皮膚に付着した場合

絶対にこすらないでください。

皮膚に刺さった場合には、毛抜きで刺さった繊維を折らないよう注意して抜いて下さい。最初、流水で洗い、次いで、温水で石鹸を使用して洗って下さい。
入浴は繊維を除去するのに効果があります。

目に入った場合

清浄な水で最低15分間、流し洗いをして下さい。
もし、痛みが残るようであれば医師の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合

吐き出させて水で良く口を洗って下さい。
もし、吐き出せないなど異常があれば医師の診断を受けて下さい。

5-火災時の措置

消火剤

水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末のいずれも有効です。
但し、まわりの状況(発火原因など)によって適切な消火剤を選定して下さい。

消火方法

通常の消火方法を取って下さい。

6-漏出時の措置

人体に対する注意事項

必要に応じて、保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

環境に対する注意事項

特になし

除去方法 床面などにこぼれた場合は、粉塵が飛散しないよう静かに清掃し空容器や袋等に詰めて一般的な産業廃棄物と同様の扱いとする。

7-取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

吸い込んだり、眼、皮膚に出来る限り触れないようにする。

必要に応じ手袋、保護眼鏡（ゴーグルタイプが望ましい）、防塵マスクをお使いください。

保管上の注意

製品は屋内に保管して下さい。

包装の破損をなくし、段ボールやプラスチックフィルムが適しています。

8-暴露防止及び保護措置

設備対策 粉塵が発生する切断、研磨等の作業や粉体状の製品の取り扱い作業などを行う場合には、局所排気装置を設置して下さい。設置が困難な場所でこれらの作業を行う場合には、防塵マスクを着用して下さい。また、洗顔、洗身、うがい、更衣、洗濯設備の設置も望ましい。

許容濃度 セラミック繊維粉塵は第3種の粉塵に該当し許容濃度を次のように定めています。

吸入性粉塵: 2mg/m³ 日本産業衛生学会

総粉塵: 8mg/m³ 日本産業衛生学会

TLV-TWA: 5mg/m³ ACGIH

保護具 作業環境を考慮して、必要に応じて次の保護具をお使い下さい。

呼吸用保護具: 防塵マスク

保護眼鏡: 保護眼鏡（ゴーグルタイプ）

保護手袋: 皮手袋等セラミック繊維、ガラス繊維を通しにくいもの

保護衣: 上衣:袖付き長袖 手首の締まったゆったりしたもの

下衣:長ズボン 足首の締まったもの

9-物理的及び化学的性質

外観	褐色
臭気	微臭(有機繊維焼却臭)
溶解温度	セラミック1760℃、ガラス845℃
繊維直径	セラミック2-4μ、ガラス9-11μ
溶解性	水、有機溶剤に対しては溶解しない

10-安定性及び反応性

安定性、反応性

化学的に安定で反応性なし。

11-有害性情報

刺激性(皮膚、眼)

直接接触時に物理的な刺激があるが、毒性はない。

急性毒性(50%致死量などを含む)

現在のところ有用な情報なし。

亜急性毒性

現在のところ有用な情報なし。

ガン原性

国際ガン研究機関では区分3(人に対する発ガン性について分類できない)とされている。

12-環境影響情報

環境影響に関する情報はなし。

13-廃棄上の注意

セラミック繊維紡織品は「ガラスや陶器の廃棄物」と同等に区分されるため、通常の廃棄方法を採用することができます。その他関係法令の定めるところに従う。

14-輸送上の注意

輸送上の注意は特になし。
但し、品質上容器等が破損しないように水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。

15-適用法令

危険有害性分類基準の対象法令に該当しない。

16-その他の情報

特になし。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
記載内容は情報提供であって保証するものではありません。